川辺町報

発行所
岐阜県加茂郡川辺町
川辺町役場

「昭和四十年」を迎えて

川辺町長　佐藤圓次郎

町民のみなさん、新年おめでとうございます。

わたくし就任以来、町民のみなさんのご支援を唯一の力として「明るい川辺町」の建設に懸命の努力をいたしておりますが壱万の町民生活の安定を期するためには、前途に解決を要する問題が数多く横たわっております。

こゝで昭和四十年の一大事、年頭にあたり希望に満ち意義ある年にいたしたいと念願し、いさゝか所感を述べてごあいさつといたします。

「年頭のことば」

議長　渡辺諫司

新年明けましておめでとうございます。

議長に就任して一年四ヶ月、みなさんの御協力により町長の方針である「明るい川辺町」のため何かと専心いたしてきました折に去る年は、町営住宅の建設、土木事業の改修等、細々は列記出来ない程の町政に微力乍ら御協力をいたして来ました次第でありますがこゝに新春を迎へまして、町長の年頭の辞にもありますような、大川辺町として伸びゆく町を築くため幾多の懸案があるようでございますのでわたくしの念願といたしましては、町政に対して万全の議会運営を以て協力いたし明朗な町を築くべく一歩〳〵と発展するような町にしたく思いますので町民のみなさんより、絶大なる御支援と御協力を賜りますよう、年頭にあたり所信を述べて、ごあいさつといたします。

〝待たれる「飛騨川橋」永久橋に架替！

昭和四十年に完成の段階へ

本町下麻生と下吉田を跨ぐ飛騨川橋は往時は飛騨街道として下麻生と御嵩を結ぶ重要な橋でありました。

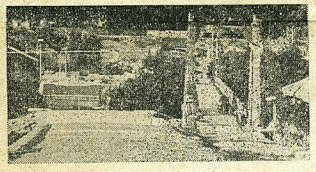
明治三十二年に県の特別補助を受け現在の吊橋に改修され、その後、明治四十一年にも大改修され更に腐朽の度毎に修理されてまいりました。

そして昭和十七年に県道に編入になりました。

然し乍ら昔からの吊橋で巾員も三、〇米で交通機関の発達と共に老朽が甚だしくその間自動車の転落事故が多発するよう強く要望してきましたが幸いに建設省、県にて採択され、昭和三十九年に於て着工になり、家屋の移転も終り取付道路並に橋台もほぼ完成しました。

引続いて本年度は橋体を施工される段階になつてまいりました。

こんど新設される橋は現在の位置より少し川下で延長は六四、七米、巾員は六、五〇米の立派な永久橋があげ今後の川辺町の発展が一層期待されます。



待たれる「永久橋」

町村合併をした今日この橋は産業の発展、文化の向上に益々重要度を増して来ました。

多年に亘り永久橋に早く架替するよう強く要望してきましたが幸いに建設省、県的な美しい橋が飛騨川ダムに映つる日も近づいてまいりました。

この橋の完成により国道四十一号線と県道七宗一可児線は直結し沿線の地域格差はなくなり町村合併の実をあげ今後の川辺町の発展が一層期待されます。

卒業生の尊い心

匿名で母校へ千円!!

十二月十六日敦賀と消印のある手紙に千円を同封して中部中学校へ届きました。

「……さて今日は私たちのボーナス日でしたこの工場へ入社して二回目です。

でもやっぱりうれしいものですね。

この感激を母校にも伝えたいと思います。

少しですが、何か役立つものがあれば使つて下さい。……」と。

「小さい親切運動」で表彰される

中部中学校　二年六組　酒向芳康君は過日　呉服店名入りの包装物品を拾得したが持主不明のため　落し主をさがしてほしいと呉服店に届けた廉によつて　十二月一日附　知事より表彰された。

愛の十円貯金

年末たすけ合いへ

この数年、毎日十円貯金をしたお金を、社会福祉にと、ご寄附をして頂くお方があります。

昨年末にも十円硬貨で三千六百六十円を警察を通じてご寄附をして頂きました。

有難うございました。

基本選挙人名簿

登録数は 6,058人

昭和39年9月15日現在

12月1日現在

世帯数	2,102
人口	9,639
男	4,830
女	4,809

基本選挙人名簿

投票区名	計	男	女
上川辺投票区	933	444	489
中川辺〃	2330	1103	1227
下川辺〃	401	189	212
鹿〃	372	181	191
福見〃	416	196	220
比久田〃	553	263	290
下吉生〃	288	140	148
下麻生〃	765	350	415
	6058	2866	3192

12月定例町議会

追加予算（二九四千円）など決まる

昭和三十九年度第四回定例町議会は十二月二十二日役場議事堂で開かれ本年度追加更正予算など十二議案を審議しました。

この議会できまつたおもなことがらはつぎの通りです

一般会計予算現額は八二、九二二千円

一定例議会（十二月）提案件について

1 昭和三十九年度川辺町一般会計補正予算

2 昭和三十九年度川辺町国民健康保険事業特別会計補正予算

3 監査委員の選任同意について

4 固定資産評価委員の選任同意について

5 川辺町国民健康保険条例の一部改正について

6 川辺町職員の給与に関する条例の一部改正について

7 川辺町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

8 川辺町教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

9 川辺町報酬費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部改正について

10 昭和三十八年度川辺町才入才出決算

11 昭和三十八年度川辺町国民健康保険事業才入才出決算

12 昭和三十八年度川辺町下麻生財産区才入才出決算

同意を求めた委員は

監査委員に　加藤英治氏

固定資産評価審査委員に　武市義雄氏

「犬の放し飼いはやめ」登録と春と秋の予防注射は必ず受けましょう

飼い犬条例（一月一日より施行）

さる十一月一日より開かれた、第四回岐阜県定例議会で飼い犬の管理を適正にすることにより公衆衛生の向上と社会生活の安全をはかる目的で、新しく飼い犬条例が可決され、一月一日より施行されました。

そこで犬を飼つておられるご家庭では、条例事項に違反しますと、処罰を受けますから、こんなことに十分気をつけて下さい。

㋑犬を絶対に放し飼いしないこと。（第三条）

㋺公共の場所及び田畑などかれた、飼い犬が汚さないこと。（第四条）

㋩飼い犬のふんなどは、飼い主が　始末し　犬小屋の内外は常に清潔にすること。（第四条）

㋥飼い犬を捨てるときは、必ず加茂保健所へ連れていくこと。（第四条）

㋭飼い犬が人をかんだ場合は加茂保健所又は役場へ連絡し、獣医の検診を受けること。（第五条）

「日の丸」をかかげましょう

世界のいかなる国にも国旗があり祝祭日には国民ことごとく国旗を出してお祝しております。

日の丸は日本の象徴（しるし）全戸に掲げましょう

国保給付改善の実施

一月一日より川辺町国民健康保険の給付内容の改善により全員七割給付（従来は五割）を実施することになりました。

これは岐阜県でも一部の町村のみが実施するものです

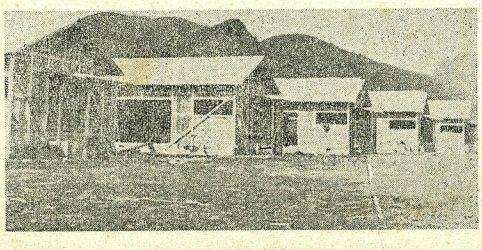
から、保険証に給付内容を改善する印を押してきましたが、いまだ　その手続をしていない人は早急に手続するよう御知らせします。

〝進む町営住宅見持団地!!

昭和三十九年度の町営住宅見持団地建設工事は　去る十月五日入札を執行し本町上川辺の中西製材所（中西鉄郎氏）の入札金額八百二十五万円に落札決定して、その後着々と工事を進め、現在全部の上棟を終り内部の造作その他に一生懸命迫車をかけて居ります。

竣工は二月末日を目途として進めています

尚建設場所は先に町報でお知らせしました通り交通に便利な中川辺駅の西「山の上町」に通づる県道沿いの畑地を整地して本年度は二十戸建設して居ります。



入居者　二十名に対し　現在希望者は三十名近く申込みが出て居ります

焼けたらたいへん!!

冬に備えて火器の点検を!

初雪があり火を使う機会が多くなりました。

ネコも炬燵を恋しがり、アンカ、コタツが登場するとどうしても火災が多くなりがちです。

これから冬にかけての火の用心はまず　採暖器具類の設備であり、その日常の管理にあります。

ストーブ、コタツからの火災は毎年の横綱でありますもし不在にするときは必ずふとんの一方を開けることを忘れないようにしましょう。

ストーブの灰は十分水で消して、危険のない一定の場所に捨てゝくれぐれも取灰や捨灰に注意するように要する「燃えない工夫焼かない注意」というこの入念さを皆さんにお願いいたします。

民間協力者も表彰

五日中部中で消防出初式

ことしの消防出初め式は一月五日中部中学校運動場でおこなわれました。

火災発生の際、消防車出動に協力した、一般町民に町長から感謝状を贈り、優良団員の表彰、分列行進、ポンプ操法、放水など多彩な行事をくりひろげました表彰された人はつぎのとおりです。

◇県知事功労章　副団長　山田信夫
〃　平岩義二

◇県消防協会長　功績章　分団長　井戸治郎

◇郡消防協会長　表彰　分団長　渡辺悦郎
〃　小森昭吾
〃　福田雅良
副分団長　伊藤哲

◇川辺町長　感謝状　下吉田　馬場広雄
下川辺　渡辺君夫

◇川辺町長表彰　第一分団副分団長　清水芳博
木沢三好
〃　〃
第二分団　〃　田原文治
第三分団　〃　肥田良雄
〃　〃　馬場清一
第四分団　〃　佐伯矩
〃　〃　佐伯三郎
第一分団　一班　団員　中川正剛
〃　二班　班長　井戸照俊
〃　〃　係長　加藤幸明
第二分団　一班　班長　牧野広利
〃　二班　自動車班長　橘本邦夫
第三分団　一班　班長　土谷喜久男
二班　〃　高井玉夫
〃　三班　団員　山田和夫
第四分団　一班　自動車班長　和田隆

◇川辺町消防団長　表彰
第一分団　一班　団員　古川光房
〃　〃　〃　鈴木春治
〃　二班　自動車班長　加藤正明
第二分団　一班　係長　渡辺清
〃　自動車班長　平岩求
第二分団二班　〃　桜井省三
第二分団二班　〃　鈴木義孝
〃　〃　班長　桜井俊博
〃　〃　班員　木下静加
第三分団一班　係長　岡田勇
〃　団員　石原優
第三分団二班　〃　土屋春好
第三分団三班　〃　石井芳明
〃　〃　奥田信義
第四分団一班　〃　加藤卓
〃　〃　水野春美
〃　二班　班長　羽田武雄

「安全かえ歌」

――"山男の歌"のフシでどうぞ――

1　おとうさん　よく聞けよ
　ウデに自信が　あろとて
　酒をのんだらよ　ハンドル持つなよ
　ねむいときにはよ　ハンドル持つなよ

2　おかあさん　よく聞けよ
　ガスに電気に　カマドにフロよ
　マツチ一本がよ　大火のもとだよ
　ちよつとの油断がよ　大火のもとだよ

3　おにいさん　おねえさん
　事故は心の　ゆるみからよ
　会社工場でよ　ケガを防ごうよ
　なれてじようずがよ　ケガのもとだよ

4　こどもさん　よく聞けよ
　わるいあそびや　あぶないことは
　やめてみんながよ　よい子になろうよ
　やめてみんながよ　よい子になろうよ

5　よろこびは　しあわせは
　くる日がくる日　安全でよ
　一家そろつてよ　たのしむ暮らしよ
　一家そろつてよ　たのしむ暮らしよ

中部中の栄誉

中部中が県下最優秀校に

……国連を理解する作文コンクール……

国連協会本部主催「国連を理解するための中学生の作文、ポスター、コンクール」に応募した中部中学校は県下多数応募作品中成績抜群で、このほど最優秀校として表彰され、賞状と循が贈られて来ました。入賞者は次のとおりです。

【作文の部】
最優秀校　中部中学校
最優秀賞　平岡陽子(三年)
優秀賞　矢島美晴(〃)
〃　青山邦子(二年)
佳作賞　矢島美貴子(〃)

【ポスターの部】
優秀賞　土谷喜代継(二年)
尚、平岡、矢島、青山さんの作文は全国中央大会に県から推薦されて出品中でその朗報がまたれている。

"町をきれいにしましょう"

みんなの力で、住みよい明るい美しい郷土をつくるために、それぞれの住民の皆さんが協力することが是非共必要です。
そのために次の点に個人〳〵が気をつけて下さい。

①道路や川、みぞに紙くずや汚物、かわら等を捨てないこと
②公共の場所、公共の建物内に紙くず、折箱、くだ物の皮等を捨てないこと
③公共物を愛護すること
④飼い犬の放し飼いはしないこと
⑤自発的に家庭内外の清潔、整とん、美化等につとめること。

第四回 川辺町美術展

盛会裡に終る

十一月二十二日(日)二十三日(祭)二十四日(月)の三日間に亘つて開催しました美術展も左記の成績をもつて多大の効果をおさめて終了しました。こゝに町民各位の御協力、別けても♠関係諸先生の御協力に対し厚く御礼申し上げます。

⬇会場校であつた中部中学校の諸先生、各小学校の♠

部名	一般出品数	入選数	特選(金)／特選(銀)
第一部(写真)	五五	一七	武市幸生
第二部(絵画)	二三 (賛助十三)	九	道家公史 (加藤考司 牧田弘子)
第三部(書道)	十四 (賛助三)	九	馬場八代美 (有本美代子 武市律子 富田啓子)
第四部(工芸)	(賛助一)	一	田原兼治 (西山明男 加藤不二男)
第五部(手芸)	一〇 (賛助一)	九	林康江 (大野恵美子 小森敏子)

その他園児、小学校児童、中学校生徒作品五五〇点(いずれも学校審査入選作品)本覚寺軒門下の生花二十鉢も陳列され精彩を添えた。

郡中学校陸上大会で優勝!!

――男女とも圧倒的な強さ――

このほど中部中学校グラウンドで行なわれた郡中学校陸上競技大会で、中部中学校は男女共圧倒的な強みをみせ、男女総合に優勝し、その余勢をかつて出場した中濃大会でも、はなばなしい活躍をして、加茂郡に優勝をもたらす原動力となつた。
成績は次のとおりである

男子　総合点
八八点　優勝　中部中
三七点　二位　白川中
三五点　三位　東白川中

女子　総合点
六〇点　優勝　中部中
四九点　二位　八百津中
二一点　三位　白川中

パチンコで社会福祉に協力

……奨励するわけではありませんが……

年の瀬もせまつた十二月美濃加茂市福祉事業協力会から、町の社会福祉事業にと一万円の寄附を頂きました。

福祉事業協力会とは、その道の方達は、すでにご承知のパチンコの景品買上による手数料の収入をもつて社会福祉事業に協力していただく会です。

これ即ち、間接にパチンコをする方達から寄附を受けた理論にもなるわけです。

但し損をした方は入らないから念のために。

何れにしても、有難く収納し社会福祉に使わせて頂きました。

林業関係のお知らせ

森林組合

新春を迎え、これから三月までは、山仕事の季節です。

伐採植林、施肥などぼつ〳〵計画されることゝ思いますので、これらのことについてお知らせ致します。

一、植林について
造林予定書を一月三十一日までに伐採届書を添えて提出して下さい。

二、山行苗の購入申込みについて
希望の方は(但し五〇本以上のこと)予約金を添えて申込みのこと。

三、山林用肥料の購入希望の方は至急申込んで下さい。

♠特に造林と苗木は補助申請の関係もありますので期日の一月三十一日は厳守して下さい。

最近、木材の生産について将来を心配したり非観説をとなえる方もありますが木材需要は年々増加しておりますので安心して造林されてもよいと思います。

し、治山、治水の面からも大切な事業と考えます。

又本年は岐阜国体が催される記念でもあり、春は入学、進学、就職の時期でもありますので、これらを考えても造林の方法はいくらもあると思います。

植林適地適木を考え、撫育管理が徹底すれば有利な投資の一つではないでしょうか。否最も安定した投資のように考られますが如何でしょう。

一年生の子どもが高校を卒業する頃には……考えても楽しいこと〳〵思います。

月々の経費も膨脹している現在、現金収入も大切ですが将来に備えての方策も無駄ではないと考えますので、労力、経費など考え合せて小規模ながら積上げて行く方針をおすゝめします。

伸びゆく県民運動

昭和40年行事は

1月　歌の月
2月　まちをきれいにする月
3月　スポーツの月
4月　花の月
5月　事故をなくする月
6月　時間を守る月
7月　親切の月
8月　9月　10月　総合推進の月

婦人会支部対抗バレー大会

婦人の体位向上と親睦を計るため十二月六日例年の通り大会を実施しました参加チームは五チームであつた。
成績は下記の通り

優勝　中川辺チーム
二位　下麻生チーム

◇この大会を通じバレーボールによる明るい豊かな地域社会をつくろうではありませんか。

中濃一市二郡駅伝競走大会

十二月十三日例年の通り実施され当町は青年部が参加しました

成績　青年部　三位
区間賞　小栗精作君

本年度は青年諸君の努力により好成績を得たことはまことに喜ばしいことである。

結核予防推進大会において

武市先生・川辺婦人会・下麻生婦人会表彰される

さる十二月十一日美濃加茂市太田小学校で行なわれた可茂結核予防婦人部会結成記念、結核予防推進の集いにおいて知事より多年の結核予防に貢献した業績で武市龍男氏、川辺婦人会、下麻生婦人会が表彰を受けた。